



報道関係者各位

2026 年 10 月 8 日(木)

デジタルハリウッド大学 [DHU]

秋のオープンキャンパス 2026 開催



2026 年 11 月 1 日(日)13:00～16:00
オンライン [YouTube Live]

高 1・高 2 生向けワークショップ & 保護者も楽しめる多彩なプログラム

文部科学省認可の株式会社立の大学として、デジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを学ぶデジタルコミュニケーション学部(4 年制大学)と、理論と実務を架橋し新たなビジネスを生み出すデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置するデジタルハリウッド大学(DHU、所在地: 東京・御茶ノ水、学長: 藤井直敬)では、2026 年 11 月 1 日(日)に「秋のオープンキャンパス 2026」を開催します。

DHU では、春・初夏・夏・秋と季節ごとにテーマを設けてオープンキャンパスを開催しています。秋のオープンキャンパスでは、高 1・高 2 生限定のワークショップと、在学生・卒業生によるトークセッション、2 つのイベントを同時並行で行います。

「秋のオープンキャンパス 2026」では、以下のプログラムを実施します。

■ 来校[駿河台キャンパス]: デジタル制作ワークショップ

(※ 来校につきましては受付を終了しましたので、オンラインでご参加ください)

来校[駿河台キャンパス]では秋のオープンキャンパス恒例、高 1・高 2 生限定のデジタル制作ワークショップを開催します。参加者は 3～4 名のグループに分かれ、在学生 TA(ティーチング・アシスタ





ント)とともに協働して課題に取り組みます。約3時間のグループワークを通じて、毎年多くの高校生が「DHW への入学を決めたきっかけになった」と語る人気イベントです。

2026年度のワークショップテーマは「映像制作」です。講師には、本学で映像制作の授業を担当する特任准教授であり、株式会社GOKKO取締役COO／統括プロデューサーの志村優先生が登場。映像制作のプロから直接学びながら、グループで作品づくりに挑戦します。

▼こんな方におすすめ

- ・グループでの制作経験をしてみたい
- ・自分のアイデアが実装される体験をしてみたい
- ・PC初心者も歓迎(在学生TAがやさしくフォローします)

▼特別講師

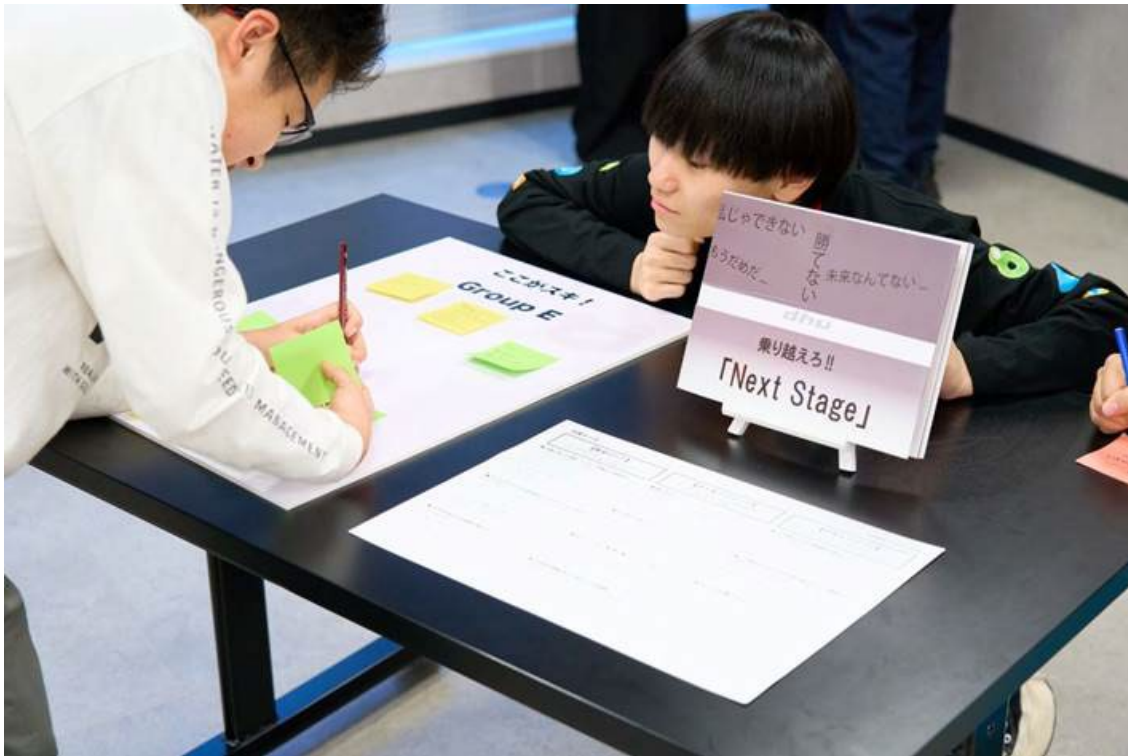
志村 優(しむら ゆう)特任准教授



美容師、エンジニアを経て、ショートドラマクリエイター集団『ごっこ倶楽部』に参画。統括プロデューサーとして200本以上のドラマ制作を指揮し、TikTok Awards Japanの受賞に大きく貢献。日本テレビとの共同プロジェクト『毎日はいかむ僕たちは。』では、平均再生数400万回超という圧倒的な実績を残し、ショートドラマという新ジャンルをマス・メディアへと押し上げた。制作の根底にあるのは、単なる直感に頼らない「再現性のあるクリエイティブ」の追求で、AIとの共創やテクノロジーを味方につけた新しい時代の表現者を育成することに注力している。

▼昨年度の様子(デジタル制作ワークショップ)





オンライン[YouTube Live]:「創る」と「届ける」をまなぶトークセッション

オンライン[YouTube Live]では『「創る力」と『届ける仕組み』。この2つが揃って、君の『好き』は世界を満たす。』をテーマに、クリエイティブ業界やコンテンツビジネスの最前線で活躍するプロフェッショナルをお招きした2つのトークセッションをお届けします。

第一部のセッションでは、2017年よりDHUが展開している受験生応援キャンペーン『みんなを生きるな。自分を生きよう。』のクリエイティブディレクターを務める本多忠房先生とゼミ卒業生が登場します。9月28日に情報解禁された新CM「好きのつづきは、自分でつくれる。」(シンガーソングライター・ふみのさん出演)に込めた想いやメッセージを中心に、人の心を動かす広告のつくり方やクリエイティブの現場で求められる思考法について解説していただきます。

第二部のセッションでは、日中韓を中心とするエンターテインメントビジネス研究を専門とする吉村毅教授をホストに、コンテンツビジネスの最前線で活躍する卒業生をゲストに迎えます。「推し活」の熱量を世界規模のヒットIPや事業へと拡大させるプロデュース手法、「好き」を世界へ届けるプロセスなどについて語っていただきます。

▼こんな方におすすめ

- ・クリエイティブ業界や広告・コンテンツプロデュースの仕事に興味がある
- ・自分の「好き」や「推し活」の熱量を将来の仕事やビジネスに繋げたい
- ・AI全盛時代において、プロの現場で求められる「人の心を動かす表現」を知りたい
- ・DHUでの学び(ビジネス×クリエイティブ)が社会でどう活きるのかを知りたい

▼第一部登壇者(予定)

- ・本多 忠房

(デジタルハリウッド大学 特任教授／TaDah 合同会社 代表社員・クリエイティブディレクター)

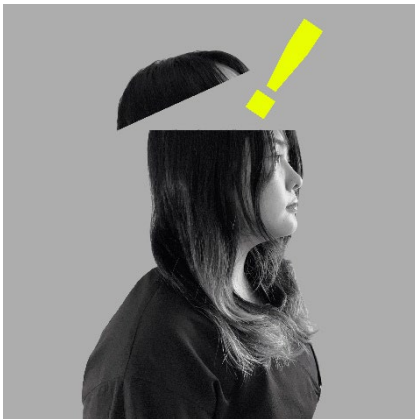




上智大学法学部在学中からデザイナーとして活動。卒業後 Yahoo! JAPAN、CyberAgent、Coca-Cola、beacon communications、GROUND、電通を経て、dentsumcgarrybowen(上海)の Executive Creative Director に。2021 年に TaDah 合同会社を設立し、代表社員・クリエイティブディレクター。デジタルをベースに戦略とクリエイティブをどちらもやるバランス型。趣味は家族と遊ぶこと、あと仕事。

・星倉利音

(デジタルハリウッド大学 卒業生 / TaDah 合同会社 Planner / CreativeTechnologist)



幼少期からものづくりを愛し、デジタルハリウッド大学に進学。在学中に TaDah でのインターンを開始。複数のプロジェクトにプランナーとして参加し、その後ワイデンアンドケネディウキョウのインターンを経て 2026 年 4 月から TaDah に復帰。ギャルマインドと愛にあふれるインサイトを武器に唯一無二のアイデアを生み出す。最近では開発(デジタルも、フィジカルも)を開始し、クリエイティブテクノロジストとしての道を歩み始めた。

▼ 第二部登壇者(予定)

・吉村 毅

(デジタルハリウッド大学 教授/学部長)



早稲田大学 社会科学部卒業後、デジタルハリウッド STUDIO 上野 by LIG 修了、(株)リクルート、CCC(株)取締役、(株)エスクアエア・ジャパン CEO、GAGA、カルチュア・パブリッシャーズ(現・GE) CEO として、海外映画の権利輸入、配給、宣伝の総合プロデュースを行う。

「セッション」「ルーム」と、買付作品が米国アカデミー賞を二年連続受賞。他に「キック・アス」など多数。韓国ドラマ「美男(イケメン)ですね」で、第二次韓流ブームを創る。K-POP グループ「インフィニット」を日本でプロデュース。オリコン・ウィークリー1位を獲得。

デジタルハリウッド大学大学院「日本 IP グローバルチャレンジ」

PJ で発掘した原作小説「千年鬼」を香港でアニメ映画化し、2025 年アヌシー国際アニメーション映画祭、シッチェス国際ファンタスティック映画祭に出品、11 月より世界配給。

・大河内 卓哉

(デジタルハリウッド大学 卒業生 / NPO 法人 カードゲーム文化振興協会 代表)





デジタルハリウッド大学1期生。

株式会社バンダイナムコゲームス(現:株式会社バンダイナムコエンターテインメント)就職。Sony Computer Entertainment Inc. Japan StudioでのPlaystation用ゲームソフト制作や、株式会社ブシロードでの創業期における事業立ち上げに参加。主にカードゲーム(TCG)プロデュースを担当。

近年は国境を超えたグローバル事業におけるマネジメントを担当しつつ、NPO活動や、2026年2月にJR東日本から発売されたトレインカードゲームの制作などを通じて、後進の育成に尽力する。

・香山 サクラローサ(デジタルハリウッド大学 卒業生/株式会社ツインエンジン 海外事業推進室 室長)



日本とコロンビアにルーツを持ち、2012年にデジタルハリウッド大学に入学。CGや映像制作の基礎を学んだ後、大学院でアニメビジネスや制作管理を修了。これまでOLM Digitalで『ミュウツウの逆襲 EVOLUTION』、東映アニメーションで『Knights of the Zodiac』のプロダクションマネージャーを担当。

現在は株式会社ツインエンジンにて海外事業の室長を務め、『地獄楽』、『超かぐや姫!』や『劇場版モノノ怪』などの海外営業およびパートナーとの調整、プロジェクトの橋渡しを担当。

▼昨年度の様子(卒業生トークセッション&保護者向け説明会)





■ 秋のオープンキャンパス 2026 開催概要

日程：

2026 年 11 月 1 日（日）

開催形式：

オンライン[YouTube Live] 13:00～16:00

* 来校につきましては受付を終了しましたので、オンラインでご参加ください。

▼ 注意事項

【共通】

* 参加するにはオープンキャンパス特設ページから視聴予約が必要です。

* 来校（デジタル制作ワークショップ）は高 1・高 2 限定で開催します。高 3 生や既卒生、その他の方はオンライン（YouTube Live）にてお楽しみください。

【オンライン（YouTube Live）】

* PC、スマートフォン、タブレットなど、YouTube が視聴できるデバイスをご利用ください。

* 視聴予約者の方には、イベント当日 12 時までに、YouTube Live の視聴 URL をメールでお送りします。

▼ 予約方法

秋のオープンキャンパス 2026 特設ページからお申し込みください。現在はオンライン参加のみ受付中です。

<https://www.dhw.ac.jp/news/autumnoc2026/>





■お問い合わせ先

デジタルハリウッド大学 入試広報グループ
nyushi@dhw.ac.jp

多くの方々のご参加をお待ちしています。

【デジタルハリウッド大学[DHU]】

<https://www.dhw.ac.jp>

2005 年 4 月、文部科学省認可の株式会社立の大学として東京・秋葉原に開学(現在の所在地は東京・御茶ノ水)。デジタルコミュニケーション学部(4 年制大学)とデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置している。

2026 年 4 月、二代目学長に藤井直敬が就任。初代学長・杉山知之が示した「すべてをエンタテインメントにせよ」を拡張し、新たな教学ヴィジョンとして「世界を満たせ」を掲げる。

デジタルコミュニケーション学部では、不確定で予測不能な未来を自分らしく生き抜く力を身につける。デジタルコンテンツ(3DCG/VFX、VR/AR、ゲーム、映像、グラフィック、Web デザイン、メディアアート、プログラミング等)と企画・コミュニケーション(ビジネスプラン、マーケティング、広報 PR 等)を産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学べる一学部一学科制を採用。さらにグローバル人材を育成するために外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。世界 49 か国・地域出身の学生が在籍し、御茶ノ水駅前が多様性に富むキャンパスを運営している。

デジタルコンテンツ研究科では、超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学究領域 [SEAD (Science/Engineering/Art/Design)] の 4 要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により「令和 7 年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中 17 位、私立大学 7 位となっており、多数の起業家を輩出している。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室: 川村
mail:press@dhw.co.jp
TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

